

平成 20 年度市政懇談会会議録〔内田地区〕

日 時 平成 20 年 7 月 22 日 19 : 30 ~
会 場 内田地区センター
参加者 59 人

市長からの市政報告のあと、参加者の皆さまとの懇談(質疑応答)に入りました。

懇談(質疑応答)

森 男性

森の自治会では、最近大型ダンプカーが通るようになりまして、子隣方面はセンターラインが付いて二車線あります。森に入りますと非常に狭くなりまして、よけて通らなければならないような道路です。それが先ほどのスライドにもありました通学路になっています。ですから、子供、小学生が大変危険だと思います。また、シルバー館のお年寄り、大きな車が通るときには、道の端に寄ってよけている状態です。またそういうのが来ると、対向車がある場合など通れませんので、民家の入り口辺りによけて待っている状態です。ですから、何らかの規制等、安全対策を講じていただきたいなと思っております。もう一点、その道路は大型車が通れるような、重量的に大丈夫な道路でしょうか。ちょっとそこら辺を聞いてみたいと思います。最後に七曲の道路です。当自治会から抜けて、七曲・東平尾方面へ行くところの、ちょうど山のとっぺん辺り、あそこら辺がセンターラインが付いている道路ですよね。それが草とか竹とか、山の木が道路に往来につきまして、大型車は完全にセンターラインを踏んで走っている状態です。だから対向車が来ると非常に危険です。ですから、そこに何らかの手を打って安全対策を講じていただきたいと思っております。

市長

どうもありがとうございました。最初に掛川から菊川の所の道路の件ですが、基本的に通学路ということですので、まず今、私は通学路の道路整備については優先的に考えるようにということで、庁舎内にも、教育委員会にもお願いをしております。従いまして、迂回をする道路が無いとかであれば、また自治会の皆さんやPTAあるいは教育委員会や学校と協議をして、きちっと対応するように話をしておきます。

もう1つ規制の話が出ましてけれども、これもやはり各地区の市政懇談会に行きますと、どこでも出る話です。この規制と言うのは、やはり1つは信号も

そうですし、横断歩道もそうですし、あるいは進入規制とかいろいろな規制があるわけですが、行政が進入禁止にしますよとか、速度制限をこれだけにしますよとかはできませんので、この辺りは公安委員会が最終的には判断するものです。当然そのためには、地域の皆さんのいろいろな考えを聞くの中で、交通規制をしたり、速度規制をしたり、進入規制をするということになりますので、そういった危険が高いところにつきましては、また戻りまして確認をして、また自治会の皆さんの方にお話をさせていただきたいと思います。それから、重量が耐えられるかどうかということだと思いたいますが、あそこは市道ですね。市道ですから基本的には大丈夫だと思いますが、またそれも確認をさせていただきます。

もう1つは、さっきの道路における草木の伐採のことですが、危険の高いところにつきましては、当然市としても道路管理として伐採をさせていただきます。ただその時に一番トラブルの起こるところが、個人の私有財産の所を市が勝手に伐採できないものですから、そういったものは地域の皆さんの道路愛護とか、あるいは所有者の了解をいただくということで、基本的には所有者の方の手入れをお願いしています。いろいろな事情がございまして、どうしても手入れできないということでしたら、担当が建設課になりますので、建設課の方にお申し出させていただきたいと思います。以上でお答えとさせていただきます。

御門 男性

日頃、市長さんや行政各界の皆さんには、大変ご尽力いただいておりますことを感謝申し上げたいと思います。私から3点ほど意見・要望をさせていただく前に、1点報告しておきたいことがあります。私も自治会の会長になって、市の方にアピールする機会が大変増えたわけですけれども、それぞれ担当の窓口の対応が非常によかったなと言う感想でございます。一方、残念なのは、通路ですれ違ったりする場合に、一言老人等に声掛けいただければ、なおありがたいと思います。フロント以外の多くの人から声を掛けられると、なお一層嬉しいという思いがしますので、是非よろしくお願いしたいと思います。

それでは、3点ほど要望をさせていただきます。まず溜池のフェンスの設置でありますけれども、これはもう既に大井川用水の調整池の池ヶ谷の内容ですけれども、申請を出してあります。早急に設置をしていただければと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。

それからもう1点は、横断歩道の設置要望でございます。遠州運輸さんのすぐ西側が通学路になっていまして、どうしても大変交通量が多い中を、学童が6年生中心に往来をするわけですが、私も見ていて大変危険です。だから、すぐ近くに交差点があるということも含めた条件がいろいろ重なるかなとも思う

んですけれども、旧大東町から来る車は橋を渡ってくる場合は、時々急ブレーキを掛けている状態であります。従って、是非横断歩道の設置をお願いしたいと思えます。

もう1点最後になりますけれども、排水路の改善要望ですが、私の所は全部で7班あるわけですが、その中の3つの班を流れる流水面積が非常に大きい。その関係で、県道の385号線の地下を流れる排水路に排水能力が少ないのかな。これも前から要望している内容ではないかなと思えますが、調査をしていた中で、早めに取り組んでいただければなと思っておりますし、時々水の流れが悪いものですから、衛生環境にも良くない部分もありますので、そういう意味でも早急に取り組んでいただきたいと思えます。以上です、よろしく願い致します。

市長

市役所を褒めていただいて、また後で改善することもあるかと思えますけれども、今日は各部長も来ていますので、また今度来るときには大丈夫と思えますので、期待して来ていただきたいと思えます。

まず溜池の件ですが、こちらは菊川市としましては、19年度からネットフェンスの安全施設整備を順次するという方針を出しました。池ヶ谷につきましては、昨年度要望をいただいておりますので、本年度実施箇所の1つとして今考えております。早急に取り組みたいと思えますが、他の場所もあるものですから、計画的な発注を考えて順次やっていきたいと思えますので、もう少しお時間をいただきたいと思えます。秋頃には、発注してできるのではないかと考えておりますのでお願い致します。

それから2つ目のやはり通学路の件ですが、先程も申しましたように毎年教育委員会とPTA、そして学校と警察と通学路の協議をしております。今具体的に御門の交差点の話が出ましたので、今日も教育長も部長も来ておりますので、また当然今日の話は戻りまして担当部局で話をして、今後どうするのかということは、また自治会の方にお返ししたいと思っております。

3点目の排水路の関係ですが、こちら18年度に自治会から要望をいただいております。当時調査をした時は断面があるということで、調査結果があるんですが、水が出てしまっていることが現実にあったと聞いておりますので、今後、また地元の皆さんと県と菊川市と協議をして対応を考えていきたいと思えますのでよろしく願い致します。

杉森 男性

やはり杉森自治会としても農道の車輛規制をしていただきたいということで、

最近、山花の信号機から政所の籠田橋の道が狭いということで、杉森から耳川に抜ける農道なんですけれども、非常に迂回する車が多いということで、数年前にも死亡事故が起きましたけれども、危険と言うことで通勤時間帯に規制をやっていただけたと思います。以上です。

市長

答えが先程と重複しますけれども、地域の皆さんのそういった要望があれば、また公安委員会の方にはお繋ぎを致します。やはり何と言っても、子供さん達の通学路ということであれば、優先的に考えなければいけないと思いますが、交通規制をしますと、必ず他が交通量が増えるということで、イタチごっこ言うかそういうことになるものですから、少し状況を地元の皆さんにお聞きしながら、また担当課の方に、これは安全課になりますけれども、また農林課と安全課と協議して対応を講じていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

政所 男性

今まで政所から何年かに渡ってお願いしておりました上小笠川に架かる児童の通学路につきまして、全線に渡って転落防止用の柵を完成させていただいてありがとうございました。それが出来たから、また次のお願いというわけではございませんが、上小笠川にだいぶ川底に土砂が溜まりまして、以前浚渫していただいた前の姿に戻ってしまいましたので、またそちらの方の川底の浚渫をお願いしたい。

それから、政所には上小笠川に橋が4つ架かっているんですけども、一番上流部にある山本橋と言うのがガードレール方式の欄干になっているんですけども、近年地元の人達から錆が浮いてきたから早めに手当てをしてほしいという要望が出ております。

3つ目は、政所に関係ある土地ではありませんが、先程市長さんのご説明にあった加茂の団地からインターまで行く道路が大変立派な道路が出来ました関係で、今度そこから内田の御門交差点に流れる車が増えてきた。だけど道路の狭さが旧態道路なものですから、非常に危ないという話がありましたので、またそちらの方の検討の方も県への働きかけをお願いしたいと思ひまして、以上3点お願い致します。

市長

それでは今の3点についてお答えします。私も今こちらに来る前に、政所の公会堂の前からどの橋かなって見てきたんですが、2本目の橋ですよ。

政所 男性(再質問)

1番上流部だから、前回設置していただいた小笠川に架かる転落防止用フェンスでやっていただいたところ。

市長

はい、見てきましてガードレールということでやはり少し錆が出ていました。また対応出来るかどうかということ、戻りまして担当課に伝えますので、またよろしく願います。

それから、河床の土砂につきましては、以前にも袋井土木でやってもらいまして、年が経ちましてだいぶ上がってきたということですので、やはり上小笠川の場合、非常に水位が早く上がるものですから、袋井土木には引き続き要望をして、早い内に工事に取り掛かるように取り組んでまいりたいと思いますのでよろしく願います。

3点目の法然山トンネル付近の道路の拡幅の件ですが、これは私が申すまでもなく、地域の皆さんはいろんな経緯の中で良くご存知だと思います。地権者のご協力をいただく中で、法然山トンネルのオープンカットは出来たわけですが、やはり地域の皆さんのご協力が無ければ出来ない部分もあるわけでありまして、またこれから是非地元の方にもご協力いただく中で、道路はまさに新しくできた出来た工業団地からの道に繋がるわけですから、また是非地域の皆さんにもこの事業につきましては、地権者の皆さんにもご協力いただけるように運動と対応をお願いしたいと思いますのでよろしく願います。

月岡 男性

要望事項と付け加えてお願いしたいことがあります。山花の所から西中の方に向かうところの道路が月岡地内を通っていますが、月岡地内の所を境に長池までの間に歩道が無い状態です。中学生が自転車通学していますが、道路の方に急に飛び出してしまう状況が見られます。自分たちの地区の所で交通事故は今のところ出ていませんが、出来るだけ早く長池までの歩道の設置をお願いしたいということ。また以前、昨年も防犯灯ということで申請をしたんですけども、今の歩道にほとんど明かりが無い状態ですので、歩道に夜間照明を付けてほしいなと思っています。以上です。

市長

月岡地内から長池地内への歩道の設置の件ですが、当時補助事業ということで途中だけ歩道が出来なかったという経緯と事実があります。その中で通学路でもあり危ないということで自治会長さんからの話ではありますが、今私共もそ

れについて対策を講じております。1つは、歩道の無い部分を橋を渡りまして、川の土手の所を渡っていく方法。もう1つは、そのまま道路に歩道を作る方法と、2つの選択肢があるわけですが、1つは短期にコスト的に軽減できるというルート、もう1つは長期になり少し経費が掛かるということの2つの協議をしております。いずれにしても地元の皆さんと協議する中で、通学路についての取り組みはやっていかなければならないと思っていますので、ぜひその時には地元の皆さんのご理解をいただきたいと思っております。

それから防犯灯の件ですが、これはその道路が暗いからということですか。

月岡 男性(再質問)

防犯灯という意味合いが違うところがあったみたいで、申請をした際、道路の歩道に付けるのは市役所の建設課で、安全課の管轄ではないということであった。月岡地内に灯りが無いものですから、何箇所か申請を出したんですけれども、そういうものをお願いしたいと。

市長

では自治会でも要望を出されているわけですね。

月岡 男性(再質問)

昨年は、防犯灯と言う意味で安全課に申請を出しましたが、そこで話がありまして、それは防犯灯じゃないよというようになったんです。こちらとしては、防犯のためをお願いしているつもりだったんですけれども。

市長

分かりました、ちょっと今具体的なイメージがちょっと湧かなくて初めてなものですから、それはまた持ち帰って回答させてもらいますのでよろしく願いします。

高田 男性

18年度、19年度に同じような要望が高田橋の歩道の設置という形で出ていますけれども、その結果をちょっとお願いしたいのと、どういう風な話の進み具合になっているのか。

それともう1つは違うんですけれども、18年度に申請しました稲荷部上高田線の下高田地区の工事ですね。危険な場所、7月17日から始まりましたのでありがとうございました。

市長

本当に高田地区の皆さんには、高田橋の歩道のことですらいろいろな要望をいただいております。初めにこの話しが出た時は、女性の方に言われた記憶がありますが、非常にその時のことが印象に残っています。これは県の事業になるものですから、県の方には強く要望しております。この橋はもう築40年以上経っていると思いますが、その辺のいろいろな事情もありますけれども、とにかくまた、県の方には子供さんの通る道路ということで引き続き強く要望していきますので、地域の皆さんにいろいろと応援をお願いしたいと思います。

稲荷部 男性

稲荷部川の関係については大変お世話になりました。樋管の改修、それと堤防をやっていただきありがとうございました。問題の稲荷部川の改修ですが、川床の浚渫が18年度からの継続要望ということになってはいますけれども、ぜひお願いします。また今だいぶ草も伸びてきている状態ですが、見に来ていただければと思います。

それともう1点、ガードレールの設置をお願いしていますが、掛川市の関係と国交省の関係で、自分も市役所で話しをしましたが、どうにもならないということでした。これをあんまり言ってポールでも立てられて通行止めになると、それも困るわけですが、何とかなればと思います。よろしくお願いします。

市長

稲荷部川についても、皆さんにいろいろと環境整備等ご協力いただきありがとうございます。今ガードレールの話が出ましたけれども、掛川市内のことはどうにもならないと担当から言われたということですが、一度戻りましてどうにもならないのか、あるいは掛川と協議したり、国交省と協議する中で、何かの可能性のあるのか調べさせてもらいたいと思います。やはり川というのは、国の管理の所、県の管理の所、市の管理の所といろいろあるものですから、あまり無責任なことをここで答えてしまって、今お話があったように国交省にこうやってやるんだったらこうだよ、という様な交換条件を出されてもいけないものですから、慎重に対応したいと思います。市民の安全のために、国交省の担当者と話をさせていただきたいと思いますのでお願いしたいと思います。

西平尾 男性

市長さんが最後にお話いただいた関口隆吉の遺徳ですが、内田の住民としてたいへんありがたいと思います。すごく立派な方で私自身も尊敬していますし、内田の方も皆さんそういう思いがあると思います。初代の県令ということで県

でもいろいろな事業をやっていただいたと思いますので、県の方にもお話いただいて、顕彰会みたいなことを市でも計画していただけたらなと思っていますがどうでしょう。

市長

私も今関心があるものですから、自分自身勉強をしております。そして、ある程度自分で整理がつかましたら、県の方にも働きをかけて、関口さんという人物が内田に住んでいたということは、もう少し県民の皆さんにも知っていただきたいなとそんな今思っていますので、もう少し時間をいただいて自分で整理が出来たら、皆さんにお話をさせてもらいたいなと思います。

月岡 男性

今質問がありました関口県令の事ですけれども、月岡の自治会の中に関口顕彰会というのを10年ぐらい前に顕彰碑を設置していただいた時から顕彰会という名称でこの顕彰碑の修繕、公園の整備をやっていただきまして、現状は維持管理がメインですけれども、その公園の顕彰碑周辺の整備というものについて、顕彰会では活動いただいております。報告しておきます。

市長

今、八木繁樹さんという方が本を書いているんですが、もし関口さんのいろいろなそういった文献がありましたら、是非ちょっとお貸しいただければ大変有難いと思います。山岡鉄舟とか勝海舟とかいろいろ明治に入ってから面識があるというかなりの歴史的な人物だと思っていますので、何か文献がありましたら貸していただきたいと思います。お願いします。

西平尾 男性

安岡ひろしですかね、この方が書いた本があるんですがね、関口さんの事だけじゃないんですがね、その本にも相当関口さんの功績が載っているものですから、また時間がありましたらご覧ください。

平尾 女性

行政というのは、人間が生活していく上でものすごく色々な事が関わり合っているんだなと改めて今思いました。そんな中で今日は内田地区の懇談会と言うことで、自治会が多かったんですけれども、私は9年ほど前に横浜からこちらに戻ってきたんですけれども、そういう中で感じたことをお話させていただきたいと思います。それとは違って5点ほど、お話を聞いていただきました

と思うんですが、先程ゴミの処理に1人当たり6,000円ぐらい掛かるということでありましたが、菊川は農業である程度今成り立っているというとおかしいですけど、産業は農業が主ですよ。そういう中でゴミの分別の中で燃えるゴミと燃えないゴミ、要するに食物残渣、そういう物を分類した堆肥化、それが今御殿場で始められています。そういうことを菊川でもやってみたらどうか。もう地球温暖化は待った無しの状態で、ある程度お金は掛けないといけないと思うんですよ。素人がそんな心配することは無いと言うかも知れませんが、私もここ何十年かは生ゴミとして出すことはほとんど無い状態で、月に紙のゴミを2回ぐらい出すので十分なんです。そうすると5,800円の処置費からすると、他の物もありますけども、少し貢献しているかなと思うんですけども、その中で農業主であれば、ゴミの分別で食物残渣の物も資源化するというのと、燃やす時のエネルギーを少なくするという意味では、菊川で立ち上げて出来ることではないかなと思います。その辺で何か計画があるのか、二酸化炭素削減のための何か方策をしているのかということ伺いたいと思います。

それとあと、それに関連して、雑がみのことに関してですが、なかなか雑がみというのは選別というか、難しいと思うんですよ。どこまでが雑がみで、家の中で雑がみが1枚でもあると嫌なものですから、つい小さく破いて燃やすゴミに出してしまうという様な状態があります。お菓子箱とかある程度厚みのあるものは必ず束ねて自治会の時に出していただきますけれども、それ以外の雑がみはどこまでが雑がみとするのか、その辺の指導をお願いしたいと思います。

それとあと、菊川に来た時に、菊川には美術館があるということですので嬉しかったんですけども、駅前に立っても美術館への道順すら無かったように思います。行政のすることではないかもしれませんが、菊川にとって美術館というのは貴重な文化だと思うんですよ。そういう中で、今度新しく駅も出来ますので、近いですけども、菊川美術館の案内板みたいな物を作っていただきたいなと思います。それとあと、子供たちに折角ここに菊川の美術館があるんですから、それをやられてるかどうかは私存じませんが、9年間の間に1度ぐらいは、中学生になって3年間に1度ぐらいは、美術館で本物の絵をみんなで見るということも1ついいんじゃないかなと思います。それと、もしそういうことが決まれば、家庭の日などに割引券みたいな物を出して一緒に行くとか、そういうことを入れてもいいんじゃないかなと思います。

それとあと、最近「中東遠、中東遠」ということで、この辺が中東遠ということは分かりましたけれども、掛川のスポーツ施設のサンリーナですか。あれは菊川も参加して、お金を出しているんでしょうか。なんかそんな話を聞いて

いるんですが、菊川市民が使えるような宣伝が1つも無いように思います。その辺で、もし掛川市民と同じように使えるものだとしたら、もう少し何か宣伝という物があってもいいんじゃないかなと思います。

もう1点、今日病院の事務長さんが見えているということで、私は3年ほど前に父を病院で亡くしました。その時にやはりトイレの紙ですね。あれは病院の病棟の紙が非常に硬い、硬いというよりもしっかり丸まっているんですね。それで一生懸命取ろうとしても、カラカラ取れないんですよ。菊川病院に入るお年寄りの方が多いと思うんですよ。お年寄りは、片方で紙をやって、片方でパンツを降ろしてってなると、とても大変なことなんですよ。そういう中で、もう少し病棟に柔らかいというか切りやすいというか、そんな紙があったらなと思います。何年か前に私が行った時に、説明書きがあったんですね。後の方が使いやすいように少し出しておきましょうと。でもそれでは間に合わない場合があると思いますので、やはりお年寄りが自信を無くすというのはとても辛いことで、介護していてもそうですし、病院で父を見てもそう思いました。ですから、是非そういう改善できるものならば、もう少し柔らかいというか取りやすい状態の物にしていきたいなと思いました。以上です。

市長

それでは私の方から、まず環境問題からお話させていただきますが、先程もお話しましたように今年度環境基本条例というものを作りまして、その条例の基に計画をきちんと立てて、これからの中・長期的な菊川市の環境行政というものを取り組んでいきたいというのが基本的な考え方です。もう1つはゴミの出し方の詳細につきましては、環境推進課が全自治会135だと思っておりますが、全ての自治会に新しく環境資源ギャラリーにゴミの搬入が決まりましてから、少し市民の皆さんも情報に混乱をしているところもありますので、今年度全ての自治会さんの方にお願いをして、出前行政講座を実施させていただきます。そこでまた詳しく話はお聞きいただきたいと思っております。生ゴミ処理の件であります。当時菊川町と小笠町は、生ゴミ処理機に対しての補助制度を行なっておりました。しかし、その当時1,000台という5ヵ年で1つの目標を立てて、そして1つ達成したということで、今中断をしております。従ってまたいろいろな環境基本計画とかという中で、それが適切であれば、また取り組みをしていきたいと思っております。また今直近話では、まだ正式に協定を結んでいませんが、市内のお店の協力をいただきまして、10月1日からレジ袋の有料化のお願いをすることを今月しようと思っております。そのように1つ1つ市民の皆さんにも負荷が掛かることをやるためには、十分な行政としても計画を立てて、そしてそれを実施していただくという形で取り組んでいきたいと思っております。

それと美術館の件ですが、菊川市立美術館を建設する計画は今のところございません。ただ、常葉美術館が県下でも有数の美術館でありまして、あそこにも日比野館長さんという菊川市に対して理解のある館長さんがみえまして、年間に数回の美術展を開催しております。また、菊川市写生大会とか、菊川市主催の文化協会の美術展等には、そちらの大学の先生が審査員になったり、あるいは菊川市民の方の絵も菊川美術展では数年前から展示をさせていただいております。非常に今友好関係にございます。また来年には、国民文化祭が菊川市でも開催されまして、常葉美術館をお借りしまして、内田出身の小山ゆうさんの原画を展示する計画をしております。そのように菊川市内にあります有効資源と申しましょうか、そのような物を、民間と行政がタイアップしながら有効に取り組んでいきたいと思っております。

サンリーナにつきましては、建設工事は東遠広域という中での一部事務組合として作りましたが、菊川市からの建設に対しての負担金は払っておりません。しかし、当然作る時は菊川市も参画しておりますので、どんどんお使いいただいて結構だと思います。

トイレトペーパーにつきましては、お願いします。

菊川病院事務長

今のご質問ですが、菊川病院の場合、非常に高齢者で入院される方が多いものですから、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。私共も勤めていると、なかなかそういった病棟のトイレを使うことがありませんので、分からないことが非常に多いですので、今いただいたご意見を早速明日病院の中で話をさせていただきます。それと、現在病院の中でもご高齢の方、足腰の弱くなられた方とかがいらっしゃるものですから、最近ウォシュレットを付けて欲しいという要望も患者様から上がっております。一度に全部という訳にはいかないものですから、今年度から少しずつウォシュレットを設置するという事も検討させていただいておりますので、今年度出来ればいくつかウォシュレットを付けていきたいという風に考えております。トイレトペーパーは実際使ってみないと分からない事もございますので、早速院内の中で検討させていただきます。ありがとうございました。またよろしくお願い致します。

御門 男性

通学路について市長さんから話がありましたけれども、県道はだいぶ良くなりまして、歩道もしっかりついてきたと思います。御門地区もそうですけれども、遠州運輸の裏を歩いて歩道は無いと。それから、杉森に至っては、わざわざすぐ走るまっすぐな道を横断して政所に出て、それで政所から出た所から

また横断して、危険を2つも繰り返して通学しているわけですね。それで横断歩道を付けたり、歩道を道路に付けたわけでも何にも無いです。だから、出来れば政所の橋の所に歩道を付けてもらえれば、杉森も御門もそんな危険な所を通らなくても、そのまま橋の横の歩道を通って、裏を通って学校に通える訳ですよ。杉森に関しては2度も危ない目をして道路を横断する必要が無い訳ですよ。そういう計画があるのかどうかを聞かせていただきたいですけども。

市長

籠田橋につきましても、前々からいろいろなご意見をいただいております。そういう中で、先程言った御門の橋が出来ましてね。これから、籠田橋あるいはあの路をこれからどうするかは、県と協議をして進めていきたいと思っております。籠田橋には歩道が無いものですから、こっち行ってこっち行ってということになっている訳ですね。籠田橋もこれから橋をどうするかということは県の方と協議をしておりますので、また県の方には強く、そういった意見があった事は伝えていきたいと思っております。